

こんにちは

日本共産党杉並区議会議員

# 酒井まさえ



2021年8月19日 No.98 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111  
090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com

## 新型コロナ対策 区に申し入れ 爆発的な感染拡大 万全の対応を！



申し入れをする党区議団と上保まさたけ8区予定候補

18日、党区議団は杉並区に対し、「新型コロナ感染者の爆発的拡大への対応に関する緊急申し入れ（第9次）」を行いました。  
**第5波の真ただ中  
杉並区でも深刻な事態**  
杉並区でも8月以降、新型コロナ感染者の爆発的拡大が起きており、杉並区が深刻な事態にふさわしい対応をとるよう、緊急に申し入れをしました。

杉並区の一泊当たりの平均新規感染者数は、7月1日からの2週間は39人でしたが、8月1日からの2週間では217人と、わずか1カ月で5.56倍に急増しています。

さらに深刻なことは、病院、療養施設に入ることができず、自宅療養を余儀なくされている人が1000人を超える事態となっていることです。

### 区民や医療機関等から切実な声が寄せられる

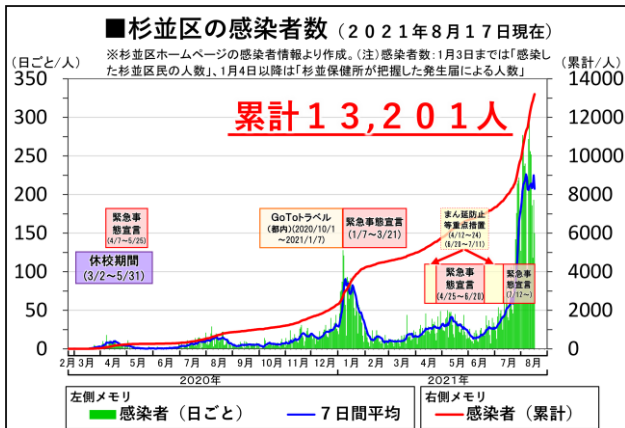
党区議団には、区民、感染者と家族、地域の診療所から、発熱相談の電話が通じない、保健所で対応できない方から診療所に相談が殺到している、在宅療養しているが専門の相談窓口を開設してほしい、食料の配布が遅れているなどの切迫した声が寄せられています。また、医師からは、通常医療を行いながらワクチンの集団接種も協力しているが、その上自宅療養者への往診と言われても大変などの声も寄せられています。

こうした事態は、保健所職員などの献身的な努力はあっても、杉

並区の現在の体制、これまでの対応の継続では、区民の命が救えない状況となっていることを示しています。

日本共産党杉並区議団は、今こそ杉並区が、感染防止のためのワクチン接種の推進、PCR検査の大規模実施などの対策強化とともに、区民の命を救うためにあらゆる手立てをつくすことを要請しました。

（申し入れの全文は区議団のホームページに掲載）



商店会支援・振興を！

## コロナ禍で中止したイベントの準備費用を都が負担

「コロナで中止を余儀なくされたイベントの準備経費について、今年度は東京都が補てんすることが明らかになりました。」

都は、商店会振興のためにイベントの準備・開催費用に補助金を出しています。しかし昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大によってイベントの中止を余儀なくされ、準備金が商店会の持ち出しになるという事例が発生しました。

杉成商店会(五日市街道沿い)では、10月には毎年ハロインのイベントをしています。

昨年はコロナ禍なので、チンドン屋を呼びワンコイン販売の

イベントを予定し、チラシとポスターを作成していましたが、感染状況で急遽中止となり、商店会の持ち出しとなりました。

日本共産党区議団は、こうした事例を知り、今年の第1回定例会で、区が都に準備費用の補てんを求めるよう質問しました。

区の担当者は「都及び本区で準備経費について、協議・調整をはかる」と答弁しました。

その結果、今年度については、準備費用を都が負担することになったと、産業センターより連絡がありました。

商店会と連携して実現した日本共産党区議団の貴重な成果です。

### 衆議院選挙 東京8区 日本共産党 上保まさたけ予定候補



#### 上保さんをかこむつどい開催

8月28日(土)14時~16時  
松ノ木2丁目第3アパート集会室

8月29日(日)13時15分~  
14時45分

永福和泉地域区民センター  
第3集会室

連絡先 090-9325-5676 酒井  
人数を少なくして取り組みます

### 健康の話 新型コロナの症状は

新型コロナウイルス感染症が流行してから、1年半以上になりました。8月18日の東京の新規感染者は、5386人と爆発的に増えました。

流行が始まったころは、「風邪やインフルエンザと同じようだ」と言われていました。

ところが、昨年12月のアメリカで発表された研究によると、感染して入院した65歳以上の高齢者はインフルエンザと比較すると死亡のリスクが5倍近く高かったということが報告されています。もちろん、感染しても無症状の人もいますが、現在流行している「デルタ株」は特に感染力が強いと言われています。

とにかく希望するすべての人が、ワクチン接種ができることを願います。

杉並でも、8月になり自宅療養者が増えてきています。政府は、「原則自宅療養」の方針を打ち出していますが、直ちに撤回すべきです。

コロナの症状はどのようになっているのか上げてみます。

- ① 軽症  
肺炎の所見なく息苦しさ無し、酸素飽和度96%以上
- ② 中等症Ⅰ  
呼吸困難・肺炎の所見あり、酸素飽和度93~96%
- ③ 中等症Ⅱ  
酸素投与必要、酸素飽和度93%以下
- ④ 重症  
集中治療室・人口呼吸器が必要

中等症の人が自宅療養を余儀なくされている事態もありますが、酸素飽和度を測定し、症状が悪化しないよう観察が必要です。入院病床の拡大、療養施設の確保が急がれます。

お困りのことがありましたら、

酒井にご相談ください。

